



Poetry for a Wounded World

世界が注目する若き詩人

アマンダ・ゴーマン

国連で紡いだ「祈りの言葉」



2021年1月に行われたジョー・バイデン大統領の就任式で、弱冠22歳にして自作の詩を披露するという大役を務めた若き詩人、アマンダ・ゴーマン氏。分断にあえぐアメリカとその再生への希望をうたったその詩The Hill We Climb「我々が登る丘」は、米国内のみならず、世界中で読まれ、多くの共感を呼んだ。このほど、国連総会で新たな詩を朗読したゴーマン氏が当番組に登場。自身の作品の一部を朗読し、詩の創作過程、SDGs実現の重要性について語った。



番組ホスト

アンダーソン・クーバー

1992年、教育向けニュース・チャンネル、Channel Oneでキャリアをスタート。'95年、28歳のとき、最年少特派員としてABCと契約。その後、同局の「ワールド・ニュース・ナウ」などの看板番組のアンカーを務める。2001年12月、CNNに入局。'05年、ピープル誌が選ぶ「セクシーで頭の切れる男性」の1人に選ばれる。2児の父。1967年生まれ、ニューヨーク育ち。

ゲスト

アマンダ・ゴーマン

米国の詩人・社会活動家。2015年に最初の詩集を発表。ハーバード大学で社会学を学ぶ。2017年、米議会図書館が創設した「全米青年桂冠詩人」の第1回受賞者に選ばれる。'21年、ジョー・バイデン大統領の就任式で詩を披露して世界的に注目を集め、多くの称賛を浴びた。1998年、カリフォルニア州ロサンゼルス生まれ。



*お聞き苦しい箇所がありますが、放送時のものです。ご了承ください。

67 国連総会で新作の詩を朗読



Anderson Cooper A concern of the new king, climate change, was one of the many global challenges front and center at the United Nations today. One of those on stage to focus on these societal concerns was American poet Amanda Gorman. You may recall the poem she read during President Biden's inauguration, where she spoke of, quote, "a nation that isn't broken but simply unfinished." In the following month, she became the first poet to perform for the Super Bowl. Her new poem is called "An Ode We Owe," and her words today focused on the issues afflicting not just a country but a planet.

- wounded:** 《タイトル》傷を負った
- concern:** 関心事、懸念
- challenge:** ①難題、課題 ②《challenge...to do》…に～するよう迫る、挑む
- front and center:** 中心の、前面の、最も重要な
- societal:** 社会の、社会的な
- poet:** 詩人、歌人
- recall:** ～を思い出す
- inauguration:** (大統領などの)就任、就任式
- unfinished:** 未完成の、完結していない
- perform:** 演じる、歌う、演奏する
▶ここでは「(詩などを)朗読する」の意。
- call:** ①《be called》題名は～である ②《call to action》行動の呼び掛け ③呼び掛け、要求
- ode:** 頌歌(しょうか)
- owe:** (義務などを)負っている
- focus on:** ～に焦点を合わせる
- afflict:** ～を苦しめる、悩ます
- recite:** (詩などを)朗読する
- the UN General Assembly:** 国連総会
- withstand:** ～に耐える、持ちこたえる
- the depths of:** ～の最悪の状態、どん底

アンダーソン・クーバー 新しい国王(チャールズ3世)が関心を寄せる気候変動は、今日の国連(総会)で主要なテーマとなった、世界が抱える多くの課題の1つでした。こうした社会的問題を取り上げるために壇上に上がった1人がアメリカの詩人、アマンダ・ゴーマンさんでした。バイデン大統領の就任式で彼女が朗読した詩を覚えている方もいるかもしれません。そのとき彼女は「壊れているのではなく、単に未完成の国」について語りました。その翌月には、彼女はスーパーボウルで詩を朗読した初の詩人となりました。彼女の新しい詩は「私たちに課された^{しょうか}頌歌」と題され、今日彼女が紡いだその言葉は、一国家だけでなく地球全体をむしばむ問題に焦点を当てたものでした。

アマンダ・ゴーマン (国連総会で詩の朗読中 ビデオ画面) どうして私があなた方に善行を求めることができるだろう/私たちはほとんど耐えられていないのに/過去



Amanda Gorman (reciting poem to the UN General Assembly, in video)
How can I ask you to do good / when we've barely withstood / our greatest threats yet: / the depths of